

# 令和3年度 事業報告書

社会福祉法人 翠庄会

## 1. はじめに

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の拡大により、今まで経験したことのない生活が続いています。障害者（児）や介護福祉サービス事業所でも施設の受け入れ中止など利用者の生活に大きな影響がありました。

また、ロシアとウクライナの紛争は、今後世界中に大きな影響を与えることは間違いありません。こうした状況の中、ますます豊かなものは豊かに、貧しいものはより貧しくといった所得格差が生じてくることを懸念しています。財源が不足する中、社会保障制度が機能不全をおこし、基本報酬などの減額により事業運営に影響が出ないよう今後の動向をしっかりと見極めていかないとはいけません。そして、救済策が十分に行き渡らないことで弱い立場の利用者など今後安定した生活を続けていくために私たちは日々努力していかないとはいけません。早くコロナが落ち着き、元の生活が送れる日が訪れることを願っています。

## 2. 基本理念

利用者一人ひとりの自主性・個性を尊重し、尊厳をもってその人らしい自立した生活ができるよう支援します。

## 3. 基本方針

- (1) 利用者の人権を尊重し、個人の尊厳が守られる福祉サービスを提供します。
- (2) 利用者のプライバシー、個人情報を保護し、信頼性の高い福祉サービスを提供します。
- (3) 良質かつ安全・安心な福祉サービスを提供します。
- (4) サービスの担い手である職員の質の向上を推進します。
- (5) 在宅サービスの充実、強化に取り組みます。
- (6) 利用者の日常生活において、地域住民との交流の機会を積極的に設けます。

#### 4. 事業の経営

##### (1) 障害者総合支援法に基づく事業

多機能型事業（生活介護・就労継続B型）   かわせみの家

多機能型事業（生活介護・就労継続B型）   あんだんて

共同生活援助・短期入所事業                楓の郷

相談支援事業（特定・障害児・一般）       ひまり

共同生活援助・短期入所事業                和っしょい

##### (2) 理事会、評議員会の開催

評議員会 1 回、理事会 5 回開催しました。

日 時	出席状況	内 容
R3.6.9 理事会	書面決議	①令和 2 年度事業報告、計算書類及びこれらの付 属明細書並びに財産目録の承認について ②評議員選任・解任委員会運営規定の一部改正に ついて ③評議員選任・解任委員会委員の選定について ④理事 6 名の選任について ⑤監事 2 名の選任について ⑥評議員候補者の推薦について ⑦評議員選任・解任委員会開催の決定について ⑧社会福祉法人翠庄会定款の一部変更について ⑨ 社会福祉法人翠庄会経理規程の一部改正につ いて ⑩定時評議委員会召集の決定について

R3.6.16 評議員会	書面決議	①令和2年度計算書及び財産目録の承認について ②社会福祉法人翠庄会定款の一部変更について ③理事6名の選任について ④監事2名の選任について
R3.9 理事会	書面決議	報告のみ
R3.12.24 理事会	理事 5 / 6 監事 2 / 2	①常勤職員就業規則の一部改正について ②非常勤職員就業規則の一部改正について ③居宅介護支援事業所の休止について
R4.3.25 理事会	書面決議	①令和4年度事業計画について ②令和4年度収支予算について ③令和3年度第一次補正収支予算について ④常勤職員就業規則の一部改正について ⑤非常勤職員就業規則の一部改正について ⑥常勤職員給与規程の一部改正について ⑦非常勤職員給与規程の一部改正について ⑧社会福祉法人翠庄会役員等の報酬規程の一部改正について ⑨社会福祉法人翠庄会各事業の運営規程について ⑩業務執行理事の選任について ⑪障害者福祉サービス事業所「かわせみの家」施設長の選任について ⑫令和3年度第2回評議員会招集の決定について

R4.3.31 評議委員会	書面決議	社会福祉法人翠庄会役員等の報酬規程の一部改正 について
------------------	------	--------------------------------

5. 多機能型（生活介護・就労継続B型）かわせみの家

生活介護

(1) 利用実績

月	活動日数	延べ利用者数	実利用者数	平均利用者数
4月	22	449	23	20.4
5月	23	395	22	17.9
6月	22	401	22	18.2
7月	23	447	23	19.4
8月	23	383	21	16.6
9月	22	407	22	18.5
10月	23	425	22	19.3
11月	22	419	22	19.0
12月	23	411	22	18.6
令和4年1月	23	361	22	15.6
2月	20	343	22	17.1
3月	23	415	22	18.0

(2) 事業内容

個別の支援計画にもとづき、作業支援、余暇支援、食事や排せつ・入浴介助、散歩・ストレッチ等の活動を提供しました。

ひだまり・食堂スペースは重度の利用者を中心とした日光浴や散歩、音楽をかけてのリラクゼーションの時間を提供しました。また、風呂敷や箸入れ等の下請け作業に加え、新たに乾燥野菜の事業を取り入れ、今まで作業に携わることのなかつ

た利用者も役割を持ちながら活動ができるよう工夫しました。

虹の部屋ではストレッチや散歩、季節の創作、外部からの下請け作業（パイプハンガー）、食品加工からの下請け（納品や販売用看板づくり）などを行いました。

オレンジの部屋では唐辛子の選別やパッキングを行いました。また、環境整備の取り組みとしてフラワーアレンジメントを行い、季節の草花を各スペースに飾りました。

見守りの不十分さやトラブル防止のため、1月からは活動スペースを2つの部屋にまとめました。部屋をまとめたことで見守りの安定や見通しのよい支援ができるようになりました。

その他にも皆が大好きなお楽しみ会の時間を作り、仕事と楽しみな活動をバランスよく提供できるよう取り組みました。

この1年はできるだけ利用者1人ひとりに役割を提供しながら、やりがいのある活動設定を行ってきました。その結果、生活介護の収益増加にもつなげることができました。

1) 利用定員 22名（登録者数 23名）

2) 障害支援区分 区分3・・・2名、区分4・・・7名、  
区分5・・・7名、区分6・・・7名

3) 日課

9:00~10:00	登所（徒歩、送迎車）
10:00	朝の会、体操
10:00~12:00	午前の活動
12:00~13:00	給食、休憩、口腔ケア
13:00~15:00	午後の活動
15:00~	帰宅準備

15：10～	帰宅（送迎車利用）
15：30～	

4) 休業日

日曜日、年末年始 12 月 29 日から 1 月 3 日

5) 作業収入

下請け等 1,181,244 円

就労継続 B 型

(1) 利用実績

月	活動日数	延べ利用者数	実利用者数	平均利用者数
4 月	22	287	15	13.0
5 月	23	266	15	11.5
6 月	22	384	15	17.4
7 月	23	283	15	12.3
8 月	23	288	16	12.5
9 月	22	307	16	13.3
10 月	23	337	17	14.6
11 月	22	320	17	14.5
12 月	23	291	16	12.6
令和 4 年 1 月	23	312	16	13.5
2 月	20	270	16	13.5
3 月	23	330	17	14.3

(2) 事業内容

利用者に就労や生産活動の機会を提供するとともに、社会において必要とされる技術やマナーを身につけることができるようていねいな支援を行いました。

利用者の希望や願いを聞き取り、個別支援計画を作成し工賃規定に基づき工賃の支払いを行いました。

それぞれの特性に応じた分かりやすい作業手順の伝え方を意識して取り組んでいます。

利用定員 18名（登録者数 17名）

1) 障害支援区分 区分1・・・1名、区分2・・・5名、区分3・・・4名  
区分4・・・5名、区分なし・・・2名

2) 日課

9:00～10:00	登所（公共交通機関、徒歩、送迎車）
10:00	朝の会、体操
10:00～12:00	午前の作業
12:00～13:00	給食、休憩
13:00～15:00	午後の作業
15:00～	帰宅準備
15:10～ 15:30～	帰宅（公共交通機関、徒歩、送迎車）

4) 休業日

日曜日、年末年始 12月29日から1月3日

5) 作業収入

食品部門 5,354,234円

利用者の作業については、服装・健康管理・手洗いなど衛生管理の声かけを徹底しました。

販売については、これまで市役所やしあわせ館での対面販売を行っていましたが、新型コロナウイルスのまん延防止措置により中止が続きました。イベントへの参加

もありませんでした。

総領や高野の道の駅や格致高校、三次病院にはこれまで通り納品を行いました。

新たに焼菓子のギフトセットを進物用として注文を受け納品や販売を行いました。

#### 農耕部門 392,322 円

唐辛子の栽培に取り組みました。

大型乾燥機を購入し、自分たちで収穫した唐辛子を乾燥まで行い納品することができました。他の事業所の唐辛子の乾燥も請負いました。

畑で収穫した野菜は給食に利用したり、事業所内で販売を行いました。

落ち葉を大量に集めて畑の堆肥として販売も行いました

#### 下請け部門 264,694 円

車の部品等の下請け作業については、不定期で数量も安定しないためその日の受注数で作業を行っていきました。

コルゲート作業は、単価は低いものの数量も安定しているため、担当利用者也毎日作業にかかわることができました。

#### 就労支援 105,900 円

今年度も引き続きヒロアイビルの清掃作業を行いました。

愛生苑については今年度においても稼働はありませんでした。

#### 健康管理

今年度もコロナウイルスをはじめとする感染症対策を行い、毎日の検温、手洗い手指消毒、不織布マスクの徹底など利用者・保護者に協力をお願いしました。コロナワクチンについても積極的な接種をお願いしました。

嘱託医である西城病院の郷力院長の指導の下、健康管理に留意していきました。インフルエンザ流行前には予防接種も行いました。

全利用者に毎月健康チェックを行い、その数値から生活習慣病につながるおそれがある方については個別に血圧測定等を行い、家族と連携し受診につなげました。

また、35歳以上の職員は半日の検診を庄原赤十字病院で受け、生活習慣病など早期発見し、健康維持に努めていきました。

## 職員体制・職員研修

### 1) 職員体制

省令に定める「置くべき従業者及びその員数」を満たし、運営規定に定めた員数を配置しました。

### 2) 職員研修

月	研修内容	実施日
4	オリエンテーション	4月 2日(金)
6	視覚に障害がある方への支援について	6月 18日(金)
7	コロナに負けない体づくり	7月 16日(金)
8	K Y T危険予測訓練	8月 27日(金)
9	避難訓練反省会	9月 9日(木)
9	介護のためのフィジカルアセスメント	9月 10日(金)
9	合理的配慮について	9月 17日(金)
10	「価値」と「価格」価値は誰が決めるもの？	10月 15日(金)
11	個人情報保護について	11月 26日(金)
12	この時期の感染について、食事介助について	12月 17日(金)
1	コロナウイルス感染症について	1月 19日(水)
1	職場のK Y T 危険予測訓練	1月 21日(金)
2	広島県発達障害者支援センターコンサル報告	2月 23日(水)

2	職員のメンタルヘルス	2月25日(金)
3	社会福祉法人会計について	3月25日(金)

## 給食

タンパク質、脂質の摂取量を1日当たり1/3、カルシウム、鉄、ビタミンCは1/2を目標量として献立を作成しました。

新しいメニューを積極的に取り入れ、各部署で出た希望を次の月の献立に取り入れました。また、温度管理や衛生管理を徹底し1年を通じて食中毒予防に努めました。

利用者の状況に応じて、トロミやミキサー食など工夫し完食できる取り組みを強めていきました。

## 地域活動

コロナウイルス感染症の影響でイベントや交流会などもすべて中止となりました。

## 地域生活支援事業

### ①日中一時支援

障害福祉サービス外で利用希望のある方または休所に当たる土曜日の利用を希望される方への支援を行っています。

また、中学校が長期休暇の間、1名の生徒さんが利用されています。

土曜日の利用については受け入れにゆとりがある状況です。

### ②移動支援

今年度はコロナワクチン接種の同行依頼が1件ありました。

## 6. 居宅介護・重度訪問介護 (かわせみの家)

障害の重い利用者、家庭において、調理、掃除などの家事援助及び食事、排せつ衣類の着脱などの身体介護を行いました。

月に1回のヘルパー会議では情報共有を行い、月に1回程度のヘルパー研修も行っていました。

件数が少なく今後も増える見込みがないことから法人内で検討した結果、令和3年度をもって休止することとし、理事会で承認をいただきました。

#### 7. 共同生活援助・短期入所（楓の郷）

利用者が自立を目指し、地域において共同して日常生活を送ることができるよう、常に利用者の立場に立ったサービスを提供しました。

また、利用者一人ひとりに合った食事提供をし、摂取カロリー・塩分にも配慮し、健康的な生活が送れるようなメニューを提供していきました。

今年度初めて防災訓練を実施しました。楓の郷の全利用者・全職員対象で夜間想定訓練を行いました。簡易担架を作って安全に避難する方法も学びました。

新型コロナウイルス感染予防のため、外食や買い物を我慢する日々も続きましたが、利用者の皆さんも理解してくださり落ち着いて生活していただくことができました。

#### 8. 多機能型（生活介護・就労継続B型）あんだんて（定員10名）

##### 生活介護

(1) 利用定員 10名（登録者数 7名）

(2) 障害支援区分 区分4・・・3名、区分5・・・2名

区分6・・・2名

新規開設事業ということもあり、日中活動をいかに充実させ地域との接点をどのように作っていくかを考える一年でした。職員の体調不良もあり限られた職員体制の中で活動の内容を検討しました。特に身体を動かし健康的な生活が送れるよう散歩やリハビリ、プールなど秋に向けては活動の幅も広がってきました。

また、特性の強い利用者の生活についても落ち着いて活動ができる場面も多く見ることができた一年でした。

(3) 利用実績

月	活動日数	延べ利用者数	実利用者数	平均利用者数
4月	22	154	7	7
5月	23	155	7	6.7
6月	22	151	7	6.9
7月	23	158	7	6.9
8月	23	157	7	6.8
9月	22	150	7	6.8
10月	23	142	7	6.2
11月	22	153	7	7
12月	23	144	7	6.3
令和4年 1月	23	143	7	6.2
2月	20	135	7	6.8
3月	23	161	7	7

(4) 日課

8:40~9:15	登所（徒歩、送迎車）
9:30~	朝の会、体操
10:00~12:00	午前の活動（散歩・リハビリ・プールなど野外活動等）
12:00~13:00	給食、休憩、口腔ケア
13:00~15:00	午後の活動（散歩・創作活動等）
15:00~	帰宅準備
15:10~	帰宅（送迎車利用）
15:30~	

(5) 休業日

日曜日、年末年始 12 月 29 日から 1 月 3 日

(6) 作業収入

下請け等 30,520 円

**就労継続 B 型**

(1) 利用定員 10 名（登録者数 10 名）

(2) 障害支援区分 区分 1・・・1 名、区分 2・・・2 名、

区分 3・・・4 名、区分 4・・・1 名

区分なし・・・2 名

新規に開設したことで職員の入院等により、4 月からの利用者への作業提供が思うようにできませんでした。7 月からはどら焼き製造に着手することができて、地域の方の購入や総領道の駅、道の駅たかのかでの販売につながることができました。

また、地域等の行事で総領町の団体からの注文があり在庫が足りない状態の日もありました。

畑作業については、かわせみの家からの唐辛子の苗を畑に植えて、納品を行いました。

また、夏野菜や玉ねぎの植え付け、収穫を行い総領道の駅での販売を行いました。下請け作業等については、新型コロナウイルスの影響もあり、カカオの皮むきや三次共同作業所からの下請け作業も不定期で、大きな収入増につながりませんでした。

利用者については、発達障害の特性の強い利用者や精神疾患のある利用者については定期的な利用には至っていません。平均区分も高めで仕事内容も限定される中、個別支援計画においてはそれぞれの能力の向上を目指しました。

(3) 利用実績

月	活動日数	延べ利用者数	実利用者数	平均利用者数
4月	22	171	10	7.8
5月	23	164	9	7.1
6月	22	165	9	7.5
7月	23	174	10	7.6
8月	23	169	10	7.3
9月	22	147	9	6.7
10月	23	166	9	7.2
11月	22	163	10	7.4
12月	23	178	10	7.7
令和4年 1月	23	168	10	7.3
2月	20	135	10	6.8
3月	23	165	10	7.2

(4) 日課

8:30~9:15	登所（徒歩、送迎車、自家用車）
9:30~	朝の会、体操
9:30~12:00	午前の作業
12:00~13:00	給食、休憩
13:00~15:00	午後の作業
15:00~	帰宅準備
15:10~ 15:30~	帰宅（公共交通機関、徒歩、送迎車）

(5) 休業日

日曜日、年末年始 12 月 29 日から 1 月 3 日

(6) 作業収入

食品部門 859,349 円

利用者の作業については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、服装健康管理・手洗いなど衛生管理を徹底し、安心・安全な作業環境に心がけました。

販売については、主に総領道の駅、道の駅たかのに納品を行い、新型コロナウイルスの影響はみられたものの、コンスタントに収益を得ることができました。

また、総領町内で行われた人権フェスタでの販売も行うことができました。

農耕部門 17,160 円

地域の方から頂いたどくだみ草をお茶にして総領道の駅へ納品しました。

夏の暑さに作物の出来も悪く、思うように収穫できませんでしたが、玉ねぎは総領道の駅に納品し、それ以外の野菜類などは給食やグループホームでの食材として利用しました。

下請け部門 105,869 円

三次の共同作業所の紙折りの作業は当初毎日のように下請けとして作業がありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり後半においては全く受注がなくなりました。

チョコレート作りを手掛けておられる方からのカカオの皮を取る作業は数回程度の依頼があったもののその後の受注には至っていません。

アルミ缶回収 126,775 円

地域の方などからの直接搬入、保護者・かわせみの家からの搬入などで多くのアルミ缶を集めることができました。また、潰す作業もないため手間をかけずに収入を得ることができました。

その他 2,080 円

職員からのアイデアもあり、カーテン留めの小物づくりを行い、手芸が得意な利用者は上手に針と糸をもって小物を完成させることができました。

## 健康管理

利用者・職員の健康維持のため、生活介護の利用者は嘱託医である西城病院の郷力院長の往診を受け、施設内では毎月健康チェックを行い健康管理に努めました。

職員については庄原赤十字病院、西城市民病院において、健康診断を行い、結果表により看護師より指導・助言等を行っていきました。

## 職員体制・職員研修

### (1) 職員体制

省令に定める「置くべき従業者及びその員数」を満たし、運営規定に定めた員数を配置しました。(各事業の運営規程に記載)

### (2) 職員研修

月	研修内容	実施日
6	パニック障害と適応障害について	6月18日(金)
8	感染症胃腸炎について(嘔吐処理方法など)	8月6日(金)
8	デルタ株やラムダ株、感染力やワクチンについて	8月25日(水)
11	障害福祉サービスについて知ろう	11月17日(火)
12	不登校及びひきこもる当事者の心理及び支援の方向性	12月7日(火)

今年度は、職員の入院と長期休暇が重なり定期的に研修会を行うことが困難でした。また、新型コロナウイルス感染症のこともあり、感染予防については夕方看護師を中心に振り返り会議では日々検討を行っていきました。

## 給食

食材はヨシケイで仕入れ献立にアレンジを加えながら作成しました。

温度管理や衛生管理を徹底し1年を通じて食中毒予防に努めました。

利用者の状況に応じて、刻み食やトロミ対応を行っていきました。

## 地域活動

コロナウイルス感染症の影響でイベントなども中止になりほとんど行事ができな  
い一年でした。それでも地域において、枯れ葉集めにより環境整備を行いました。

## 地域生活支援事業

### 日中一時支援

障害児（者）を介護している家族の介護負担軽減等を目的としたこの事業では  
障害福祉サービス外で利用希望のある方または、休所にあたる土曜日を中心にレクレ  
ーション、創作活動、見守り等を行いました。

### 9. 共同生活援助・短期入所（和っしょい）

利用者が自立を目指し、地域において共同して日常生活を送ることができるよう、  
利用者の意思及び人格と利用者・家族の意向を尊重し、常に利用者の立場に立ったサ  
ービスを提供しました。

また、食事についてもヨシケイの食材を利用し摂取カロリー・塩分にも配慮し、健  
康的な生活が送れるようなメニューを提供していきました。

和っしょい開設時に入居された利用者が実家に近いということもあり、楓の郷に転  
居され日中活動もかわせみの家を利用されるようになりました。1名の空きが出来た  
と同時に三次支援センターからの相談により4月以降入居される事となりました。

### 10. 相談支援（ひまり）

基本情報収集を丁寧に行い、本人を様々な角度から客観的にとらえ、正確なアセス  
メントを行い、希望する生活の実現に向けサービス等利用計画の作成と福祉サービス

の調整を行いました。

庄原市からの委託相談については、引きこもりや精神障害者やその家族に障害や病状の理解に関する支援や不安の解消、情緒安定を図るためにソーシャルクラブへの同行も行いました。コロナウイルス感染症で多くの研修会が延期や中止になる中電話などで連携を取りながら関係づくりを深めていきました。

今年度の相談の傾向としては、精神疾患等で社会生活の困難さを抱えたケースや理解が難しい困難ケースなどサービスに結びつかないケースが増え、多機関との連絡調整が必要なケースもありました。

また、4月から農吉が行う児童発達支援事業所開設にあたり、新規で児童の相談が数件ありました。来年度は児童の相談件数も増える見込みです。